

アカデミックフェス 事後レポート

企画名：「明治大学ラテンアメリカ・プロジェクト企画～外国語（スペイン語）なんてこわくない！～」

企画名（英語）：Do not be afraid of Spanish!

時 間：14：50～16：20

会 場：アカデミーコモン 2F ROOM-A（A3会議室）

登壇者：青山南（作家、早稲田大学教授）、越川芳明（文学部専任教授）、中林真理子（商学部専任教授）、内田兆史（政治経済学部専任准教授）、須川善行（明治大学出版会）、所康弘（商学部専任准教授）

開催概要：

本企画の目的は、英語以外の言語の役割やその重要性をあらためて考えることであった。今回はとくにスペイン語を取り上げ、その魅力を語り合った。また、スペイン語圏であるメキシコの社会、文化・芸術の素晴らしさについても、討論した。

開催概要（英語）：

The purpose of this project was to rethink the role and importance of foreign languages other than English. This time, we chose particularly to talk about the Spanish language and its charm. We also discussed the beauty and uniqueness of Mexico's society, culture, and art.

開催内容：

ラテンアメリカ大陸の国々やカリブ海地域は英語圏、スペイン語圏、ポルトガル語圏、フランス語圏などから構成され、言語的にきわめて多様な地域である。当然のことながら、当該地域では英語だけですべてが事足りるわけではない。本企画は、グローバル・ビジネスにおける英語の位置づけはそれとして、それにもかかわらず、英語以外の言語の役割やその重要性をあらためて考える機会にできればと考え、開催に至った。

今回は特に、当該地域でもっとも話者が多いスペイン語を取り上げて、その魅力について議論した。

また、スペイン語話者が世界一多いメキシコ合衆国を個別に取り上げて、同国の社会、文化（文学）・芸術、チカーノ文化、ボーダー文化の素晴らしさについても、来場者の方からの質問も交えながら、クロストークを行った。

以上の討論を通じて、昨今、トランプ米大統領による攻撃にさらされているメキシコの多様な魅力、多面性、奥深さについての理解を深めた。

以 上